

## 単位子ども会からのお尋ね 及び 回答

令和2年7月3日  
熊本市子ども会育成協議会

### 単位子ども会が直面する課題

このことについて、ある子ども会育成会長さんから本会にお尋ねがありました。十分満足のいく回答にはなっていないかと思いますが、お答えしたことを他の育成会の皆さんとも情報を共有したくお知らせします。なお、この内容について他の良い方法、考え方があればお知らせ頂くと有り難いです。皆でこの課題について考えていけたらと思います。

#### 【 お尋ねの内容 】

◎ 未加入世帯が増え役員の負担が増えている。

#### 1 会員増につながっている実践例が分かる資料が欲しい

熊本市だけでなく、全国的に子ども会への加入数が減少傾向にあります。しかも、ここ数年に始まったことではなく、ずっと以前からの大きな課題のようです。

この課題に対しての決定的な解決策は分かりませんが、先ず、加入しない理由を把握あるいは推測してその障害をできるだけ少なくする取り組みをすることだと思います。

ただ、この事は決して容易なことではないでしょう。

#### (1) 主に保護者に関する例

- ① 「忙しいので」、あるいは、「下の子どもが小さいのでそちらに手がかかり」役員になれない。
- ② 自分は役員の仕事は（能力的に）出来ない（向いていない）。 など

#### 【回答】

##### (1) ① について

会社勤めをしながら、あるいは小さい赤ちゃんを抱っこしながら育成会の役員をされている方は実際居られます。「面倒なことはやりたくない」ので「やりたくない理由付け」の一つの場合もあるかと思いますが、かわいい我が子のことより、大人の自分のことを優先されているのでしょうか。

そんな方には、子ども会活動（年齢の近い異年齢集団の活動）の意義・効果を理解してもらい、自分の子どもをより大事に思えるように自己変革されることを期待するしかないかも知れません。子どものためなら少々の苦労はしてみよう！！と思ってもらえたら有り難いですね。子どもたちは体験をしたがっていますが、保護者の理解・協力がなければ子どもは活動できません。大人も大変でしょうが「かわいい子には体験を！」と子どもの成長に少し時間を割いて欲しいものです。

保護者の意識改革に、以前お配りした資料※1、2及び今回お送りした資料3、4を参考にアプローチしてみてください。

とにかく、子どもの成長には学校教育だけでは得られない地域の教育活動（子ども会活動）も大変大事だと言うことです。このことを、多くの人に知って欲しいものです。

- 資料 ※1 **かわいい子には体験を！** 2020.04 ★  
※2 **子どもによる 子どものための 子ども会活動** 2020.04 ★  
※3 **子ども会活動のあり方(プレゼンテーション)** 2020.05  
※4 **子ども会活動 実践編** 2020.06 ★ ★印はHPにも掲載

新会員勧誘については資料※4の3ページ「子ども会組織作り実践例」は参考になると思います。案内文に添えて本会の啓発資料（※1、2、4）等を同封させて頂ければ有り難いです。資料はこちらで準備いたします。必要なときに本会にご連絡ください。

### (1) ② について

役員の仕事は本当に大変だと思います。最初は誰でも初めてで仕事内容も分からないので不安がられ、自分には役員の仕事は出来ないのではないかと自分で思い込んで居られる方も多いと思います。そこで役員の仕事内容、そして今までの会の活動内容など子ども会についての説明を簡単でもいいからまとめておいて日頃から保護者に知らせておけば会の活動の理解が進み、高学年になってから急に役員の話があるよりも不安が少ないのではないのでしょうか。ただ、ある子ども会には役員全てが低学年の保護者という所も現にあります。

また、ひとりの人に仕事が集中しないように、役割分担や互いに協力する体制を作ったりして負担の軽減を図る仕組みがあれば役員も引き受けやすくなるのではと思います。

P T Aの役員も同じですが、役を引き受けることは大変なことです。マイナスの面ばかりではありません。役を終えた人からよく次のようなことを聞きます。

○子どもとの関わりが増え、子どもに対する視野が広がり、子どもをより理解できるようになった。

○大人も友人が増えて地域の人とのつながりが広がった。

○充実感・満足感を味わう事ができたのでやって良かった。などです。

身近にいる人がそんな体験を話して下さると良いのですが。

### (2) 主に子どもに関する例

① 部活、塾、習い事等があるので忙しくて子ども会活動に参加できないので加入しない

② 子ども本人が他人と余り交わりたがらない

#### 【回答】

(2) ①についてはこれも完全に解決する方法はないと思いますが、全ての行事が部活等とダブってはいないと思います。子ども会で事前に行事の調整が出来ればよいのですが難しい問題でしょうね。子ども会の意義についての理解が深まれば、毎回でなくても少しでも子ども会活動に参加しようという意識につながると思いますので、子ども会活動の意義の啓発が大事だと思います。生涯学習課も毎年小学生に「今しかできない 子ども会に加入してみませんか!」という資料を配付して加入を勧めています。子ども会活動が大事だからです。本会が作った資料1～4も参考になると思います。

(2) ②については日頃から近所の子や同学年あるいは学年が近い周りの子どもの優しく且つ積極的な関わりが大切だと思います。子どもが仲良く楽しく活動できる環境作りも大切だと思います。保護者の方と連携しながら、急がず周りの子どもたちを通して自然体で関わってください。

## 2 活発な活動例が分かる資料が欲しい

#### 【回答】

活動例については今後市子協としても各単位子ども会から報告してもらってそれを取りまとめ、そして、活発に行われた代表例を年度末に発行される「熊本市子ども会だより」等に掲載して皆さんに広めようと考えています。組織の小さな子ども会もあれば大きな子ども会もあります。どんな小さな活動でもどこかの参考になると思いますので、貴子ども会でも活動の記録(メモ)や写真撮影をしておいて市子協に応募、紹介して欲しいと思います。

なお、十分参考になるかどうか分かりませんが、上記**資料3の一部、資料4に活動の実践例**を掲載しておりますので参考になれば幸いです。

資料に不備・改善点も多々あるかと思いますが、今後修正・追加してよりよい「実践例集」を作り上げて皆様の役に立つようにしたいと思います。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

逆にお願いになってしまいました事をお許し下さい。